

事業所運営に関する自己評価表

事業所名：PONO KIDS鎌倉
 サービス：放課後等デイサービス
 実施日：2023年1月25日

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	取り組み状況
環境・体制整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			部屋を2つに仕切ることにより（自由に移動可）静と動、勉強や読書などしたい児童と身体を動かしたい児童、低学年と高学年でわけて混乱を招かぬよう工夫しています。
	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数に加え、指導員又は保育士を1名以上配置（常勤換算による算定）。さらに心理指導担当職員を1名配置しています。
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		2Fのため、階段に手すりが設置されている。エレベーター等の昇降設備はない。
適切な支援の提供	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			はい。週に1度スタッフ全員で振り返りを実施する時間を設けています。
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	いいえ。開設1年目のため今回は初めての実施となる。
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開（公開予定）しているか			○	いいえ。開設1年目のため今回は初めての実施となる。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	いいえ。今後第三者評価を実施し、業務改善につなげる予定である
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			はい。
	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			はい。フォーマルアセスメントは、Vineland-II、SP感覚プロファイルを導入。また、保護者との連携によりアセスメント情報を充実させています。保護者だけではなく子どものニーズも取り入れ作成しています。
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			はい。Vineland-II（適応行動尺度）を使用しています。
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			はい。スタッフ間で分担しながら、チームで行っています。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			はい。担当者を交代制にしてプログラムが固定化しないよう工夫しています。
	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			はい。長期休みだからできるプログラムを取り入れることにより個別支援計画にある児童のニーズに応えられるよう個々の支援計画を見返しています。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			はい。平日は集団活動、土曜日は個別活動
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			はい。日々コミュニケーションを取り意見を交わしやすくしている
定期的に、職員間で必ず打合せをし、実施された支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			はい。毎週土曜に行うミーティングにて週、月の振り返りを行い共有しています。	

	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			はい。システム化しIT化している。記録とチャットシステムを連動させることでより非同期的に周知する環境を整備しています。
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			はい。
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			はい。
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			はい。管理者および児発管が参加しています。
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			はい。
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		どちらでもない。該当者がいません。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		どちらでもない。相談支援事業所とは連携します。
関係機関や保護者との連携	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		どちらでもない。該当者がいません。
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		どちらでもない。令和5年よりスーパーバイザーに助言や研修に入ってもらう予定です。
	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	いいえ。今後は、新型コロナウイルスの感染状況をみて、地域活動を増やし交流の機会を設けていきたい。
	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		どちらでもない。該当者がいません。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			はい。家庭連携・事業所内連携などを積極的に実施し、情報共有をしています。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		標準化されたペアレント・トレーニングは実施していないが、情報共有の機会を頻繁に設けている。
保護者への説明責任等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			はい。契約時に丁寧な説明に努めています。またご不明点があればLINE等で簡単に問い合わせることができる環境を準備しています。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			はい。日々の連絡ノート・LINE・家庭連携などを活用して情報共有・共通理解に努めています。
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			はい。年4回の親子参加型家族イベントを開催し、保護者会の開催に繋げています。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			はい。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			事業所外への会報等は発行していないが、保護者には、情報発信している。

	個人情報に十分注意しているか	○		はい。個人情報の使用に当たり、段階的な確認を実施しています。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		はい。口頭だけではなく視覚的に伝達するなど工夫しています。
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか	○		いいえ。今後は、新型コロナの感染状況をみて、地域活動を増やし交流の機会を設けていきたい。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		訓練等は実施しているが、保護者へのマニュアル周知には至っていない。今後周知に努める。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		はい。年2回以上の訓練を実施し、管轄消防署に届出している。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		はい。虐待防止委員会を設置している。神奈川県主催 令和4年度神奈川県障害者虐待防止・権利擁護研修にも参加している。
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束が必要となる可能性のある児童については、ご家族や市役所等に確認している。事前に支援計画書には記載していない部分もあるため、今後は記載する。
	42.食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		全てのお子さまについて、アレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
	43.ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。